

ランドスケープ経営研究会

～緑とオープンスペースの経営と事業のあり方を考える研究会～
Landscape and Business Development Association, Japan (略称：LBA)

設立趣意書

一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

本研究会は、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会（CLA）が設置する研究会です


ランドスケープ経営研究会 (略称:LBA)


HOME


研究会の目的

研究会の活動

入会のご案内

設立趣意書 

経営研究会要綱 

経営研究会役員名簿 



新たな時代の緑とオープンスペースのビジネスモデルを構築します

私たちは、緑とオープンスペースの経営において、ランドスケープからの発案が、人々の笑顔にあふれ元気で美しいまちづくりに貢献するものでありたいと考えます。そして私たちは、緑とオープンスペースの経営と事業のあり方、すなわちランドスケープ経営に取り組むことにより、緑とオープンスペースがまちづくりのハブになり、コミュニティを持続的に支えていく大きな力になると確信し、ここに「ランドスケープ経営研究会」を設立します。

NEWS & EVENT 最新ニュース

ニュース一覧

平成29年12月27日(水) **NEW** 「ランドスケープ経営研究会 第1回制度セミナー」が開催されます。

平成29年12月7日(木) **NEW** 「ランドスケープ経営研究会 設立記念オープンセミナー」が開催されます。

平成29年10月23日(月) 「ランドスケープ経営研究会」を設立しました。

ココをクリック

ランドスケープコンサルタンツ協会

CLA

日本公園緑地協会「公園緑地におけるサ
ウンディング・公衆情報」

Park-PFI

ランドスケープ経営研究会事務局

東京都北区田端新町3-14-6 ノザキGビル (〒114-0012)

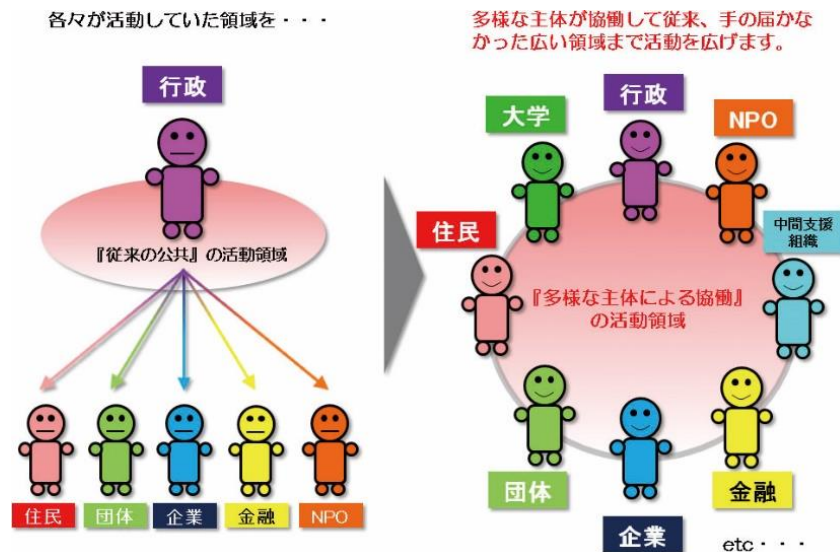
tel : 03-6807-8636 fax : 03-3810-9384 e-mail : info@lba-j.org

1. 設立趣意

■背景

- ・公園のストック形成
- ・一方で、地方公共団体は、維持管理、リニューアルの難題に直面
- ・一部の苦情等から、利用制限により対応する状況が発生
- ・公園ばかりでなく、まち全体が疲弊した状況
- ・このような中、都市公園法が改正（平成29年6月施行） Park-PFIが創設
- ・同時に、都市緑地法、生産緑地法も改正

・「従来の公共」から「多様な主体による協働」体制へと主体が変化



1. 設立趣意

■ 設立趣意

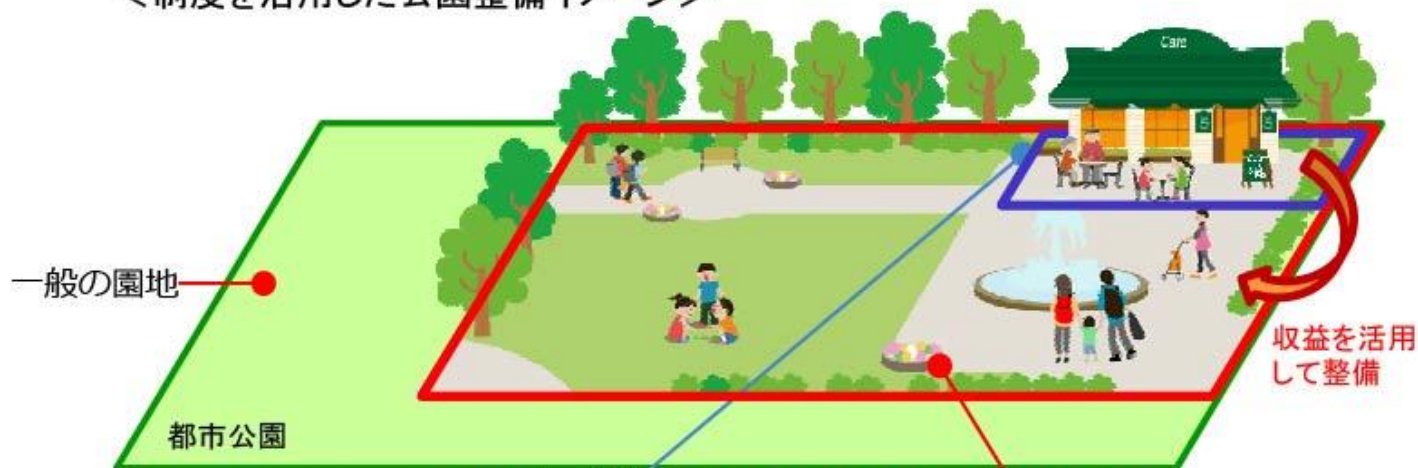
- ・新たなステージの緑とオープンスペース
- ・再整備・管理運営を、公民連携によりマネジメント＝「経営」する仕組みにシフト
- ・緑とオープンスペースの幅広い経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を活かす
- ・空間を使いこなすため、アクティビティを生むプログラムの導入と、場所(Place)のデザイン
- ・従来からのランドスケープ技術を基盤とすることで、地に足の着いた固有性
- ・行政、民間、地域・市民の目標共有を可能とするランドスケープからの発案
- ・人々の笑顔にあふれ元気で美しいまちづくりに貢献

私たちは、緑とオープンスペースの経営と事業のあり方、すなわちランドスケープ経営に取り組むことにより、緑とオープンスペースがまちづくりのハブになり、コミュニティを持続的に支えていく大きな力になると確信し、ここに「ランドスケープ経営研究会」を設立します。

2. Park-PFIの概要

■Park-PFIの概要

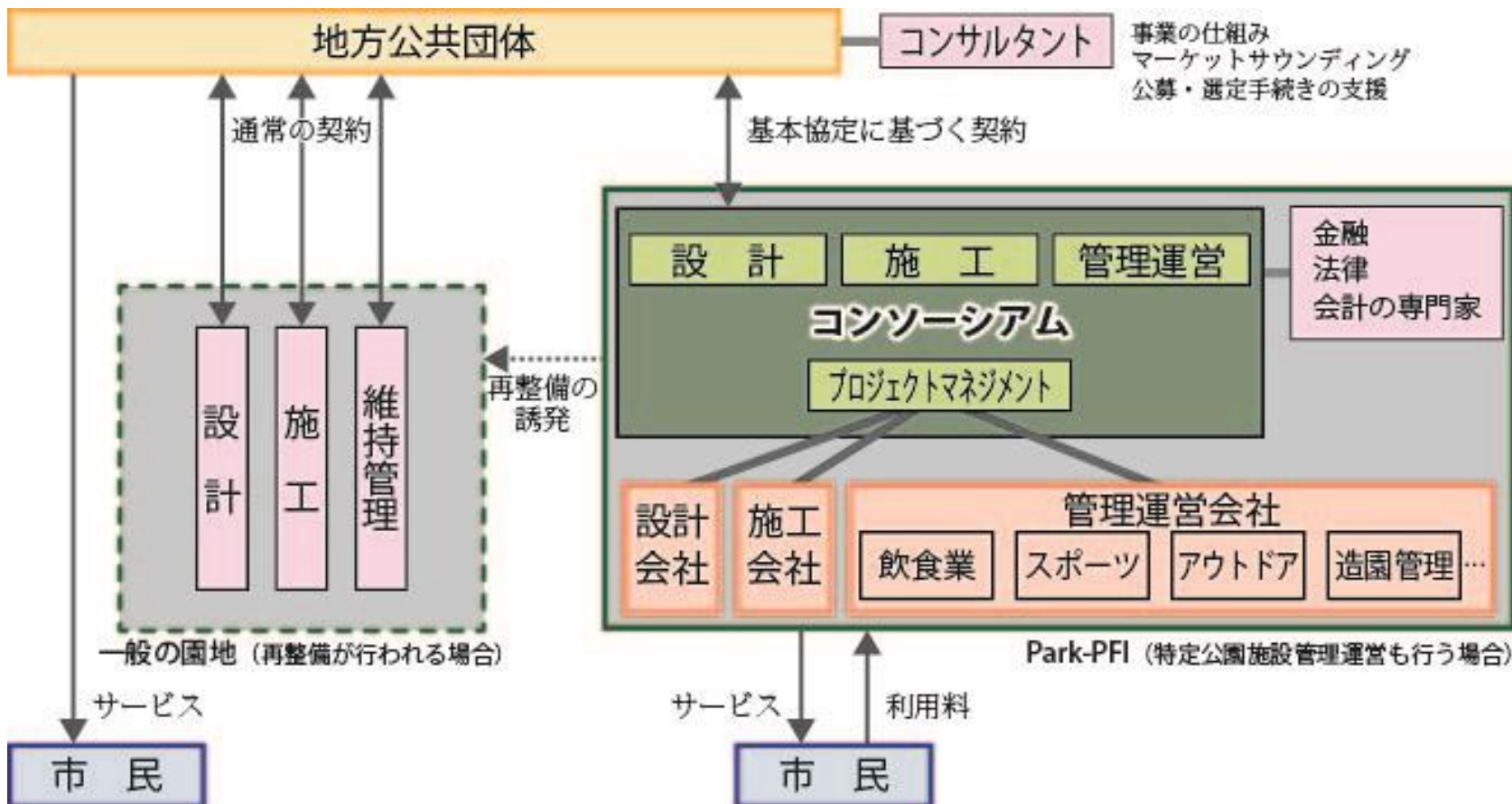
<制度を活用した公園整備イメージ>



	カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)
従前	民間資金	公的資金
新制度	民間資金	収益を充当 公的資金

2. Park-PFIの概要

■ Park-PFIの事業構造



3. 研究会の目的

■ミッション

新たな時代の緑とオープンスペースのビジネスモデルを構築する

1. 民間の資金とアイデアにより公園を柔軟に使いこなすためのランドスケープ経営モデル
2. 身近な公園や緑地がハブとなったまち全体のコミュニティ型ランドスケープ経営モデル
3. 設計、施工、管理運営が一体的かつ継続的に仕事をするランドスケープ経営モデル

3. 研究会の目的

■目的(要綱 第2条)

本研究会は、新たな時代の緑とオープンスペースのビジネスモデルを構築することをミッションとし、緑とオープンスペースの経営と事業のあり方、すなわち「ランドスケープ経営」に関心のある企業、団体、個人を募り、Park-PFIをはじめとする公民連携方策の技術・情報交流、研究・提言を行うことを目的とする。

■ランドスケープ経営の方針

緑とオープンスペースの経営資源

【ヒト】: 多様な主体の協働を育てる

【モノ】: 交流が生まれ居心地がよく美しい場所をつくり育てる

【カネ】: 民間の資金とノウハウによりまちを活性化する

【情報】: 人々が集まる場所となる公園を情報の拠点・まちづくりのハブとする

短期的経済価値判断だけが優先されることなく、これらすべてにバランスよく取り組み、緑とオープンスペースが源泉となって、活力ある都市のリノベーションに繋いでいくことが、我々の考える「ランドスケープ経営」です。

4. 研究会の位置づけと事業内容

■位置づけ

- (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会(CLA)が設置する研究会
- 「ランドスケープ経営」に関心のある企業、団体、個人が会員となり運営

■活動方針

- ① 会員が協力して、Park-PFIをはじめとするランドスケープ経営に関する民間事業者の事業アイデアや事業課題を研究し、地方公共団体をはじめ広く世の中への提言を行います。
- ② 会員へ向けて、地方公共団体情報の提供、シンポジウム・セミナー等によるランドスケープ経営ノウハウや技術情報の提供等の各種サービスの提供を行います。
- ③ 会員相互のランドスケープ経営に関する意見交換の場を提供します。
- ④ Park-PFI推進プラットフォーム(仮称)の構築を推進します。

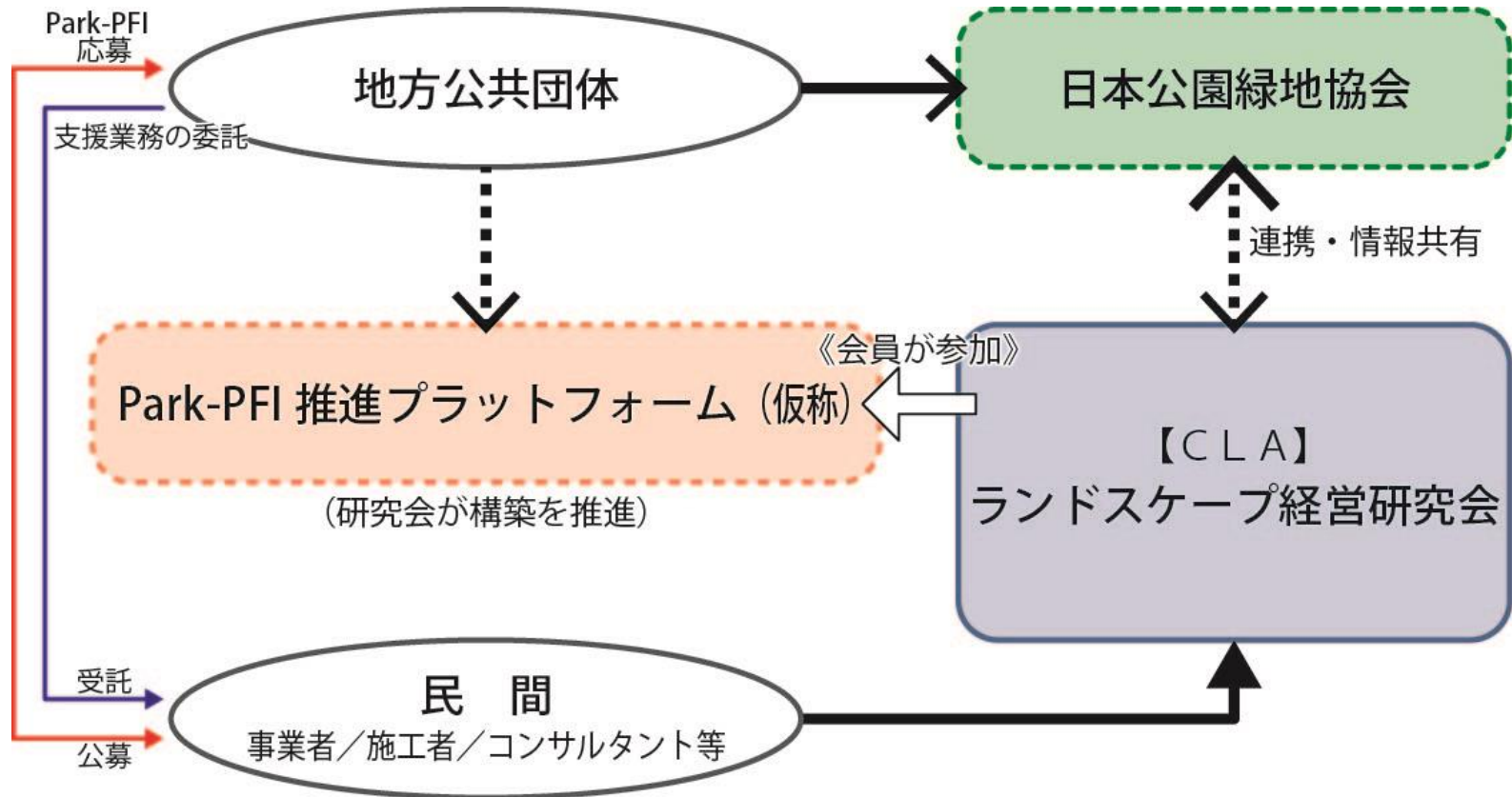
4. 研究会の位置づけと事業内容

■主な活動

- 民間からの事業課題やアイデアの研究
- 研究・提言のとりまとめ及び発信
- シンポジウム、セミナー等の開催
- ホームページの作成・運営
- 会員向けメールマガジン発行
- 意見交換会の開催(会員相互)
- Park-PFI推進プラットフォーム(仮称)構築の推進

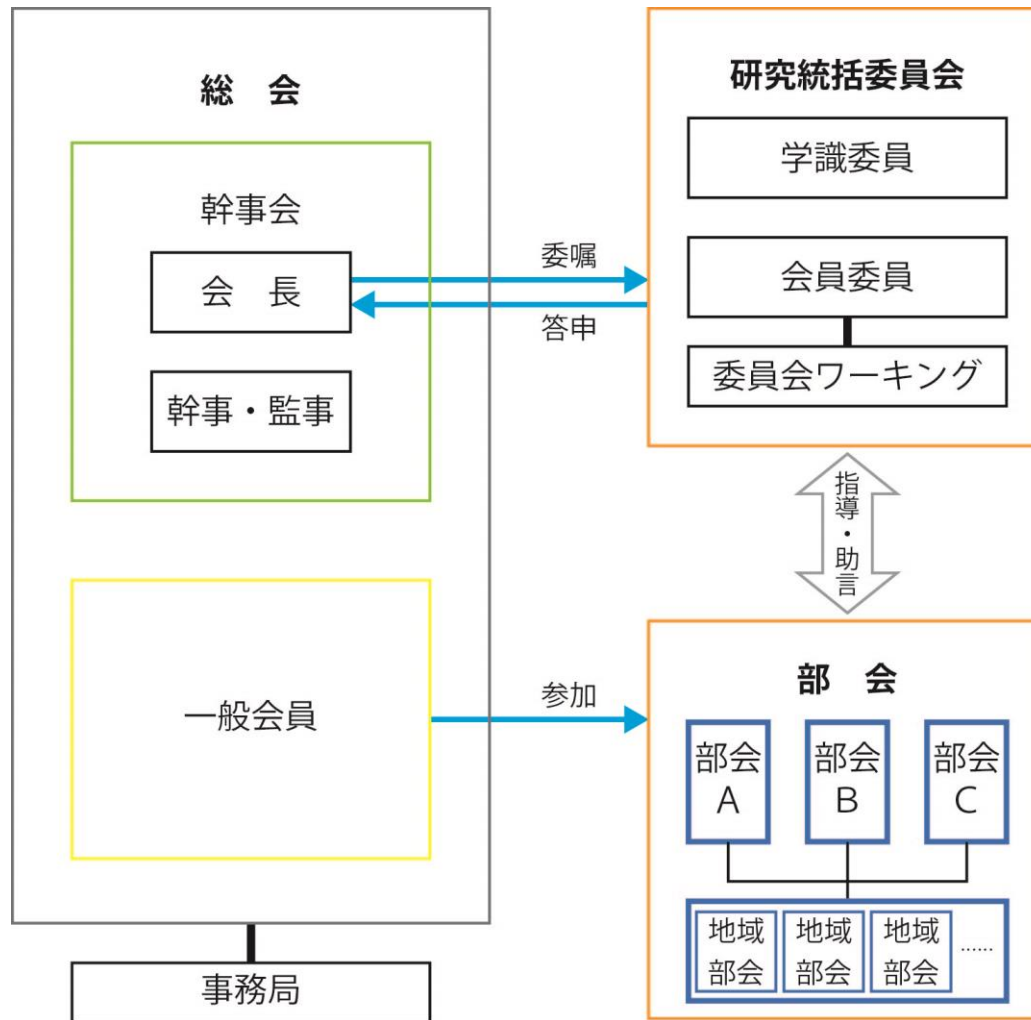
4. 研究会の位置づけと事業内容

■ 組織連携のイメージ



5. 研究会の組織構成

■ 組織図



※部会 A・B・C は、例えば、
ミッション 1・2・3 に対応

5. 研究会の組織構成

■ 研究統括委員会の役割

- 研究課題の設定(情報の集約により研究課題を洗い出し)
- 部会の設置(研究課題テーマごとに部会を設置)
- 提言のとりまとめ(部会への作業指示)
- 提言の発信などの戦略・方針設定
- 委員会を補佐するワーキングを置く

委員長 池邊このみ 千葉大学大学院園芸学研究科 教授

副委員長 金子忠一 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授

副委員長 金岡省吾 富山大学地域連携推進機構 教授／副機構長

■ 部会の役割

- テーマごとに研究・提言作成
- 各部会へ参加を希望する会員により構成

6. 会員募集

■入会のメリット

- **ランドスケープ経営の最新営業情報・技術情報の取得による参入機会向上**
- **地方公共団体からランドスケープ経営事業トップランナーとして認知
(名簿の開示により、サウンディング候補となり得る)**
- **会員相互の事業コンソーシアム形成
(案件ごとの組成の際、各社の特徴・意向を事前認知)**
- **民間からの事業アイデアや事業課題の研究・提言により、公募要件等の適正化推進**
- **講習会・交流会等を通じ、地方公共団体と民間事業者の意見交換の場に参加**
- **ポータルサイト等(構築予定)の利用**
- **早期入会により、さらに上記各メリットを先行的に享受**

6. 会員募集

■ 会員の構成(想定業種)

- カフェなどの飲食業
- コンビニ、園芸店などの物販業
- アウトドア事業・宿泊業など
- スポーツ・健康ソフト業
- デベロッパー・ハウスメーカー
- 総合建設業・専門建設業
- 建築、インテリア、都市計画事務所
- シンクタンク、商業コンサル、広告代理店
- ファイナンス、法律、会計事務所等
- イベント等プログラム提供者(NPO含む)
- 保育所・社会福祉法人、農業ベンチャー企業など
- 建設コンサルタント
- ランドスケープコンサルタント
- 造園施工業
- 公園施設メーカー
- 運動施設メーカー
- 個人会員(学識者・個人事業主など)
- 関係団体・協力団体
- その他

■ 会費

	入会金	年会費
①CLA会員 (種別を問わず)	10,800円	32,400円／一口 (初年度21,600円) ※一口2名の会員登録
②CLA非会員	21,600円	64,800円／一口 (初年度43,200円) ※一口2名の会員登録
③個人会員	10,800円 (初年度 免除)	10,800円

※初年度：2017年度

7. スケジュールと目標

■ 第1期: 2017年10月～2020年3月

